

【若狭塗（国指定伝統的工芸品〈昭和53年指定〉）とは…】

■ 歴史

若狭塗は、江戸時代の初めに若狭湾のそばに位置していた小浜藩の漆塗りの職人が、中国の漆器作りの技術にヒントを得て、海底の様子を図案化して始めたものです。17世紀の中頃には卵の殻や金箔や銀箔で加飾する、という現在まで伝わる方法が完成しました。当時の藩主がこれを「若狭塗」と名付け、足軽の内職として保護奨励したところから、様々な上品で美しいデザインが考案され、現在に至っています。

■ 特徴

全国に数多い漆器産地の中でも、「若狭塗」は、漆を幾重にも塗り重ねては、研ぐという「研ぎ出し」技法を使っています。極上漆を十数回塗り、卵の殻、青貝、松の葉、ヒノキ葉、菜種等を使って模様を作り海底の様子を表します。数か月の長い時間をかけて製作されるため、熱や水分にも変化することなく、堅牢優美な高級漆器が出来上がります。



【講師紹介】



職人から一言

マンツーマンで
きめ細やかに指導します。
初めての方もぜひ
チャレンジしてみてください！

羽田 浩一

羽田漆器店 14代目

伝統工芸士※

NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」で技術指導や作品提供を行う。

福井県特産グッドデザイン展入賞（平成4年）

伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰（奨励賞）（平成19年度）

※「伝統工芸士」：（財）伝統的工芸品産業振興協会が法律に基づいて、国指定の伝統的工芸品の製造に従事する技術者の中から、高度の技術・技法を保持する者を「伝統工芸士」として認定しています。

【アクセスマップ】



【お申込み欄】

ふりがな 参加者氏名	生年月日		年	月	日
住所	〒 -				
電話番号	自宅：() 携帯： -	通学している学校名 *学生のみ			
保護者承諾の署名 *未成年者のみ					